

1. 輸送の安全に関する基本的な方針（タクシー）

第一交通産業グループは、輸送の安全の確保が公共輸送機関の社会的使命であると深く認識し、全社員に輸送の安全の確保が最も重要であることの意識徹底を図ります。

そのために、当グループの基本理念である「顧客第一主義」の中で、「安全・迅速・快適」を掲げ、特に「安全」が最優先である旨の意識の徹底を図るとともに、公共輸送機関としての次の使命を果たします。

1. 関係法令の遵守
2. 安全最優先の原則
3. 安全管理体制の継続的改善等の実施
4. 交通事故を社会悪と位置付け、徹底的に撲滅を図る

また、運輸安全マネジメント体制の維持、継続的な改善に努めるため、次のとおり安全方針を定め、周知します。

1. 輸送の安全を確保するために、交通安全に関する目標を設定のうえ、具体的な改善策を策定し推進します。
2. P D C Aの枠組みにより交通安全に関する改善策の有効性のチェックと改善を確実に展開していきます。
3. 交通安全に関する法規制や社内外の安全に関する要求事項を順守します。
4. 交通安全を継続的に取り組むために、取り組み体制、取り組みの仕組み及び手順を確立します。
5. この交通安全方針を当社の従業員及び関係会社で働く人々のみならず、広く社会に公開し周知します。
6. 交通事故を社会悪と位置付け、徹底的に撲滅を図ります。

平成 18 年（2006 年）10 月 1 日

第一交通産業グループ本社
代表取締役社長 田中 亮一郎

2. 輸送の安全に関する目標及び当該目標の達成状況（2026年度）

1. 第一交通産業グループでは、輸送の安全に関する基本的な方針に基づき、各年度に輸送の安全に関する安全重点目標を設定し、目標を達成するため取組計画を作成する。
2. 取組計画に従い、目標達成のために計画を着実に実施する。
3. 結果や達成状況を踏まえ、毎年見直しを行う。

● 2026年度 安全重点目標（2026年4月1日～2027年3月31日）

◇タクシー部門

【重点目標】

『危険予測運転を徹底し、100%過失事故を撲滅しよう！』

【行動指針】

- ① 『交通状況の変化に備えるために
3秒間の車間距離を徹底しよう。』
- ② 『バックする前はミラーと目視で
360度確認を徹底しよう。』
- ③ 『信号機のない横断歩道は、
いつでも停止できる最徐行運転を徹底しよう』

【成果目標】

- ① 追突事故の撲滅
⇒ グループ全体で年間240件以内に抑える
(前年295件)
- ② 逆突事故の撲滅
⇒ グループ全体で年間240件以内に抑える
(前年297件)
- ③ 横断歩道上の対人事故の撲滅
⇒ グループ全体で年間0件に抑える
(前年24件)

二〇二六年度 安全重点目標

『危険予測運転を徹底し、
100%過失事故を
撲滅しよう！』

行動指針

《追突事故防止》
「交通状況の変化に備えるために
3秒間の車間距離を徹底しよう。」

《逆突事故防止》
「バックする前はミラーと目視で
360度確認を徹底しよう。」

《横断歩道上の対人事故防止》
「信号機のない横断歩道は、
いつでも停止できる最徐行運転を徹底しよう。」

⑧ 第一交通産業グループ

3. 事故発生状況公表

◆2025年度交通事故総件数 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(グループ全体)

有責事故2,049件 (前年増減 228件 対比112.5%)

非責事故1,134件 (前年増減 98件 対比109.4%)

◆重点目標該当事故の発生状況 (2025年4月1日～2026年3月31日)

① 横断歩道上の歩行者事故撲滅

目標⇒グループ全体で年間0件に抑える

結果⇒ (グループ全体)

発生件数 24 件 (目標不達成)

② 追突事故の撲滅

目標⇒グループ全体で年間230件以内に抑える

結果⇒ (グループ全体)

発生件数 297 件 (目標不達成×)

③ 出会頭事故の撲滅

目標⇒グループ全体で年間120件以内に抑える

結果⇒ (グループ全体)

発生件数 171 件 (目標不達成×)

④ バック事故の撲滅

目標⇒グループ全体で年間290件以内に抑える

結果⇒ (グループ全体)

発生件数 321 件 (目標不達成×)